

文学部
TSUJIMOTO Chizu
PROFILE
職名
文学部 日本語日文学科助教
学歴
立命館大学大学院文学研究 科日本文学専攻博士後期課 程単位取得後退学（1989）
学位
文学修士（立命館大学、1986）
所属学会
日本近代文学会
専門分野
日本近現代文学

辻本 千鶴

つじもと ちづ

研究課題1 ● 日本近現代の小説研究

業 績

【著書】

- 『大正文学史』／晃洋書房、2001年11月、共著。
『明治の結婚小説』／おうふう、2004年9月、共著。
『悪女の文化誌』／晃洋書房、2005年3月、共著。
『大正の結婚小説』／おうふう、2005年9月、共著。
『昭和の結婚小説』／おうふう、2006年9月、共著。
『女の怪異学』／晃洋書房、2007年3月、共著。
『明治の職業往来』／世界思想社、2007年3月、共著。
『伸び仕度』／おうふう、2008年3月、共編著。
『小説の中の先生』／おうふう、2008年9月、共著。
『母と娘の歴史文化学—再生産される〈性〉』／白地社、2009年3月、共著。
『「職業」の発見』／世界思想社、2009年9月、共著。

【学術論文】

- 「川端康成『山の音』論 美への執着」／『日本文芸学』第23号、1986年11月。
「『山の音』論 その愛の様相」／『論究日本文学』50号、1987年5月。
「『みづうみ』論」／『立命館文学』505号、1988年3月。
「川端康成の美学 『雪国』とのかかわり」／『立命館文学』508号、1988年10月。
「『眠れる美女』考」／『解釈』、1990年11月。
「『女坂』の世界 円地文子の出発点」／『日本文芸学』第27号、1990年11月。
「作品論 『山の音』」／『国文学 解釈と鑑賞』、1997年4月。
「〈人間失格〉者と「神様」の間—構造から読む『人間失格』」／『言語文化論叢』第
四巻、2010年8月。